

造船学術研究推進機構 平成22年度研究テーマ募集要綱

1. 応募資格

- (1) 日本国内の国公立大学に所属する個人の研究者及び博士後期課程の学生を対象とします。ただし博士後期課程の学生の場合は指導教官の承認が必要となります。
- (2) 応募は、原則として各年度毎に1人につき、1テーマに限ります。
- (3) 当機構から交付を受けている研究者が連続して応募する場合は、現在交付を受けている期間と重ならないことが必要です。
- (4) 寄付金受入れに際しては、法人税法上認められた「指定寄付金」である旨が記載された領収書が必要です。

2. 研究テーマ・期間

- (1) 研究テーマの選定に際しましては、日本造船業の概況(<http://sajn.or.jp/redas/>)を参照して下さい。
- (2) 企業活動に密着した研究は除外されます。
- (3) 研究期間は1年以上最長3年までの年単位とします。
- (4) 研究テーマは、指定テーマ1・2と一般テーマに3分類して募集しています。

A. 指定テーマ

下記テーマに関連のある研究を、「指定テーマ」として審査いたします。

1. LCV (Life Cycle Value) 向上船関連テーマ

日本造船工業会では、「国際競争力の強化」を図るために、「性能・品質」に重点をおいたLCVの高い船舶の研究開発に取り組んでおります。

- (1) 船舶の燃費低減またはGHG低減に関連する研究。
- (2) 船体構造の合理化及び長寿命化に関連する研究。
- (3) 環境保全や船舶の安全航行に関連する研究。
- (4) 船舶建造における自動化・ロボット化に関する研究
- (5) 揮発性有機化合物(VOC)低減対策に関する研究

2. 海洋技術関連テーマ

平成19年7月に海洋基本法が施行されました。その後、平成20年3月に「海洋基本計画」が閣議決定され、各省庁とも新たな海洋産業の創出のため諸施策に取り組んでいます。

- (1) 海底鉱物資源(熱水鉱床等)の開発
- (2) 海洋エネルギー資源(メタンハイドレート、潮流・波力発電等)の開発
- (3) 新海洋食料生産システムの開発
- (4) 海洋環境保全システムの開発

(5) 低炭素型シームレス物流システムの開発

B. 一般テーマ

船舶・海洋に関係のある先端技術の全ての分野の基礎的研究を、「一般テーマ」として審査いたします。その中には、造船・海運分野の産業基盤を強化する新規性の高い応用的研究を含みます。

~~~~~

応募申請書のテーマ名称覧には、

A「指定テーマ名称1(1)~(5)、2(1)~(5)」又はB「一般テーマ名称」のどれを選択したかわかるように記入して下さい。

**(「記入の手引き」記入例を参照して下さい。)**

### 3. 交付金額

- (1) 1件当たり100万円/年以内を目安といたしますが、内容審査のうえ最高500万円/年まで認めることもあります。
- (2) 複数年度に亘るテーマについては、1件当たり総額1,000万円を限度といたします。
- (3) 複数年度に亘るテーマの交付金は原則として初年度に一括して支払います。

### 4. 応募申請書

応募申請書及び記入の手引きについては事務局に申し込むか、ホームページから直接ダウンロードして下さい。

### 5. 応募

所定の応募申請書に所定の項目を記入の上、お申し込み下さい。

1. 応募者の氏名、年齢、所属大学、部科職名、所属大学の所在地、電話番号等
2. 応募者が博士後期課程の学生の場合は、指導教官の氏名、所属大学、部科、押印等
3. テーマ名
4. 目的、概要、実施方法、期待される効果
5. 研究期間
6. 交付申請金額および支出計画

### 6. 申込先・締め切り

- (1) 105-0001

東京都港区虎ノ門 3-2-2 虎ノ門30森ビル 社団法人 日本造船工業会内  
「造船学術研究推進機構 事務局」宛 **郵送**にて応募下さい。

- (2) 締め切りは**平成21年12月29日(火)**とし、**当日消印は有効**といたします。

- (3) 郵送による応募のみを有効として受け付けます。(Eメールによる応募は不可)

## 7. 選考

- (1) 本機構の審査委員会が審査、選考いたします。  
(2) 選考に当たってはできるだけ若手研究者を優遇いたします。

## 8. 交付決定通知

- (1) 交付が決まったテーマについては、平成22年6月末日までに応募者に郵送にて通知いたします。申請者が博士後期課程の学生の場合は、指導教官および申請者に通知いたします。  
(2) 交付が決まったテーマは別途公表いたします。  
(3) 選定に関する経緯、内容などの詳細についての問い合わせには応じられません。

## 9. 交付金の支払・経理

- (1) 本交付金は、公表後できるだけ速やかに研究者の所属する大学に支払います。その経理は当該大学に委託し、(法人税法により認められた)「指定寄付金」である旨を証明する領収証の発行が必要です。  
(2) 博士後期課程の学生の場合は、指導教官経由で大学へ経理を委託いたします。

## 10. 交付金の使途・成果の報告

- (1) 交付金の使途の詳細についての報告は不要です。ただし、費用支出計画を応募時に提出して下さい。  
(2) 成果報告は外部機関へ公表することを原則とし、公表後は別刷りを本機構へ送付して下さい。公表の際には、本機構からの交付金による研究であることを明記して下さい。外部機関への成果報告が行われない場合は、当機構宛への成果報告を作成し提出して下さい。  
(3) 複数年度にわたる研究については、上記(2)のほか、各年度末に所定の「研究成果概要中間報告書」を提出して下さい。  
(4) 交付金額300万円を超えるテーマにつきましては、日本船舶海洋工学会や日本造船工業会で、成果の報告・発表を求めることがあります。

## 11. 提出書類等の取り扱い

- (1) 提出書類は一切返却いたしません。  
(2) 提出書類の内容の公開はいたしません。  
(3) 提出後の申請書の変更は、原則として認められません。ただし、研究費用に関し当機構の予算との関連で、調整の必要が生じた場合は、個別に研究内容の変更を打診することもあります。

以上

# 造船学術研究推進機構

Fundamental Research Developing Association Shipbuilding Offshore  
(略称: REDAS)

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル 社団法人 日本造船工業会内

Tel: 03-5425-9531 Fax: 03-5425-9533

<http://www.sajn.or.jp/redas/>

# 造船学術研究推進機構 研究テーマ応募申請書 記入の手引き

造船学術研究推進機構

本「手引き」は造船学術研究推進機構が募集する造船学術研究に関する交付金応募申請書の記入の要領について記述したものです。

## 記

### 1. テーマ名称

A「指定テーマ」A1.(1)～(5)又は、A2.(1)～(5)、B「一般テーマ」どれを選択したかわかる様に記入して下さい。

記入例：

|           |                |    |    |
|-----------|----------------|----|----|
| A 1 ( 1 ) | 船舶の燃費低減に関連する研究 | 一副 | 題一 |
|-----------|----------------|----|----|

|           |               |    |    |
|-----------|---------------|----|----|
| A 2 ( 4 ) | 海洋環境保全システムの開発 | 一副 | 題一 |
|-----------|---------------|----|----|

|   |               |  |  |
|---|---------------|--|--|
| B | (応募の) 研究テーマ名称 |  |  |
|---|---------------|--|--|

### 2. 研究の分野

研究の内容が下表に示される技術分野の何れに分類されるかを選択し、番号を○で囲んで下さい。(複数分野にわたる場合は、該当分野それぞれを○で囲んで下さい。)

#### 技術分野一覧 (順不同)

| 番号 | 分野名称  | 細分類名称                         |
|----|-------|-------------------------------|
| 1  | 流体・運動 | 流体、抵抗、推進、運動、水理、海象             |
| 2  | 強度・構造 | 強度、材料・腐食、溶接、振動、加工、構造          |
| 3  | 機械・電気 | 機械、機構、伝熱、燃焼、電子、電気             |
| 4  | 設計・生産 | 設計・生産・制御システム、環境、人間、塗装、防食、海洋開発 |

### 3. 研究の目的と概要

研究の目的と概要について、簡明に記入して下さい。

### 4. 研究項目と実施方法等

(1)研究項目と項目ごとの研究の実施方法について、具体的かつ簡明に記述して下さい。但し、必要に応じ、補足説明書(A4サイズ3枚以内)を添付して下さい。

## 記 入 例

|     | 項 目   | 実 施 方 法         |
|-----|-------|-----------------|
| 例 1 | 現象の解明 | 実機計測による・・・・・・・・ |
| 例 2 | 解析    | コンピュータモデル解析・・・  |
| 例 3 | 実証実験  | 縮尺模型実験・・・・・・・・  |
| ・・・ | ・・・   | ・・・             |

### (2) 研究期間

研究期間を年単位で記入し、さらに、予定している研究開始、終了の年月日を記入して下さい。ただし、研究期間は最長3年となります。

### (3) 関連研究の現状・国内の関連研究者名等

関連する研究が国内外にあれば、その研究の現状を記述して下さい。また国内の場合、その研究者の氏名を参考として記述して下さい。

## 5. 期待される効果

本研究の成果により、期待される効果あるいは研究が与えるインパクト・波及効果について簡単に記述して下さい。

## 6. 研究の独創性・新規性

本研究のどこに独創性・新規性があるかを簡明に記述して下さい。

## 7. 研究の将来性・波及性について

本研究の将来性・波及性について簡明に記述して下さい。

## 8. 交付申請金額

### (1) 交付申請金額

交付申請金額の合計を千円単位で記入して下さい。

ただし、1テーマあたり、100万円/年以内を目安といたしますが、内容審査のうえ最高500万円/年まで認めることもあります。複数年度にわたるテーマについては、1テーマあたり1,000万円を限度とします。

### (2) 交付金支出計画

交付金の支出計画を千円単位で記入して下さい。

研究が複数年度にわたる場合は交付金の年度毎の支出計画を記入して下さい。ただし、最長3年度となります。

### (3)申請金用途内訳

申請金の用途内訳を下記の各項目毎に記入して下さい。

#### 1. 設備・備品費

実験器具やコンピュータ等の設備あるいは備品の購入費用を品名毎に記入して下さい。なお、コンピュータ等については型番も記入して下さい。

#### 2. 消耗品

実験機材やコンピュータ用記録媒体等の消耗品の購入費を品名毎に記入して下さい。

#### 3. 備人費

臨時備人等の人件費を項目毎に記入して下さい。

#### 4. その他

上記以外の必要な費用を項目毎に記入して下さい。

### 9. 申請者名

(1)申請者の氏名(フリガナ)・年令、所属大学・学部・学科・職名・学位、所在地・電話番号・ファックス番号・Eメールアドレスを記入して下さい。

(2)申請者が博士後期課程の学生の場合は、指導教官の氏名・所属大学・職名・押印が必要です。

### 10. 申請書送付先および受理日

(1)郵送による申請のみを有効と致します。

申請書送付先： 105-0001

東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル

社団法人 日本造船工業会内

**造船学術研究推進機構事務局**

(2)受理日

送付消印をもって受理日と致します。

### ※ その他

○申請書は、片面のみ記入。両面コピーは不可。

○募集要綱1. 応募資格(4)及び9. 交付金の支払・経理(1)に記載されている「指定寄付金」である領収書の発行が条件です。所属大学の担当部署に必ず確認をして下さい。

### 11. 問い合わせ先

造船学術研究推進機構

電 話 : 03 (5425) 9531

F A X : 03 (5425) 9533

以 上